

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和4 年度)

施策コード	123	施策名	文化・芸術・スポーツ活動の支援
将来像	1	安全でうれしいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)	
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち	
主担当部	教育部	主担当課	生涯学習スポーツ課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民は自分にあった文化・芸術・スポーツ活動を楽しみながら、健康で心豊かな生活を送っています。また、そのような活動を通して、人と人との交流の広がりや深まりが進んでいます。		
施策の方向性	1	市民文化・芸術の充実と発展をめざします	
	2	誰でも気軽にスポーツ活動に親しめる環境をつくります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
特別展事業	1	シティプロモーション課	6,069
文化活動振興事業	1	生涯学習スポーツ課	4,389
体育等振興事業	2	生涯学習スポーツ課	2,811
清瀬内山運動公園等管理事業	2	生涯学習スポーツ課	69,137
総事業費(施策の合計)			82,406

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	この一年で芸術・文化に接したことがある人の割合		目標値	67.5	67.5	68.0	68.0	68.0
	説明	—	単位 %	実績値	61.9(※)	61.9(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	91.7%	91.7%			
②	名称	この一年でスポーツ・レクリエーションに参加したことがある人の割合		目標値	36.7	36.7	35.2	35.2	35.2
	説明	—	単位 %	実績値	30.2(※)	30.2(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	82.3%	82.3%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●清瀬内山運動公園の簡易水洗トイレ交換や、サッカー場C面フェンス改修工事などを行い、利用者が快適に利用できる環境整備を図ることができた。</li> <li>●清瀬ポッチャ祭を継続して開催した結果、ニュースポーツの用具貸出は、令和4年度で90件の申請数となった。</li> <li>●郷土博物館で企画・開催した特別展「古代武蔵と清瀬」、「歩く、描く 谷口ジローと清瀬」においては、通常の倍にあたる4,200人もの方々にご来場いただき、大変盛況であった。また、コロナ禍で安全に開催するため、消毒や検温といった感染拡大防止対策を講じながら開催した。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、各種イベントの実施方法等の見直しが必要となる。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	スポーツ施設の老朽化が進んでおり、快適にご利用いただくため、施設の維持管理、設備・備品などの更新が必要であるが、対応が必要な事項が広範囲に及んでいる。
	課題に対する令和6年度以降の取組	利用者の要望等を確認するとともに、優先順位を踏まえながら対応を検討し、引き続きスポーツ施設の維持管理等を実施する。
②	施策を進める上での課題	スポーツ大会等を開催するにあたり、運営スタッフの高齢化等による人材確保が難しい。
	課題に対する令和6年度以降の取組	民間事業者を加えた大会運営方法の検討を行う。